

お金の手品のつくりかた

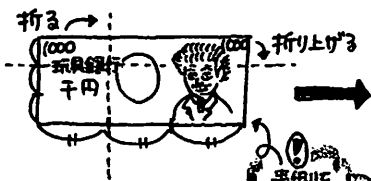
● 木才料・道具

もし手に入らなかつたら、色の違う紙を同じ大きさ(約14.5×20くらい)に切って、使ってもO.K.。少し厚みがあるのがいいです。

- ・おもちゃのお金 (100円ショップなどで、おもちゃのコーナーに置いている千円札や一万円札を使用。2種類を1枚ずつ用意)
- ・両面テープ または のり

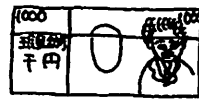
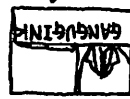
● つくり方

- ① 千円札をまず左側1/3と、上側1/3で内側に折ります



お札の裏に
①上側を
折ります

- ② 折りめをつけて、ひろげ、もとにもどします。



- ③ 一万円札も①と同じように折ります。



①千円札と同様、左側を折って、上側を折ります。
②表側を折ります。

- ④ ②の千円札を裏返し、折り目でしきられた一番大きな長方形の所に、

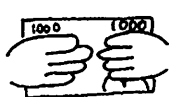
- ③を上下逆にして、両面テープまたはのりで、貼り合わせます。



①一万円札は、上下を逆にして貼り合わせます。

● あそび方 (手品のせり方) ≒練習すれば、うまくなるよ≒

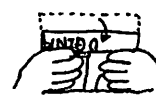
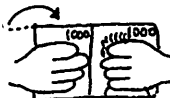
- ① 千円札の表側を見せ、両側から親指以外の4本の指で握りよくに持ちます。



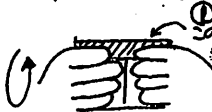
②裏は、一かきある円札をおどきます。

- ② 右手で、つくり方①で折った1/3を折ります。

次に、上の部分の1/3を折ります。



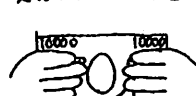
- ③ 両手の人さし指で、折った上の部分を自分の方に押すようにしながら、すばやく、ひっくり返し、一万円札が、相手に見えるようになります。



①の部分を人さし指で自分の方に押しお札をひっくり返します。

一万円札が前になる

- ④ お札が変わっていないふりをしながら、ゆくり折れている部分を広げ、一万円に変わっていることを示します。



⑤手品をする時は、自分の手元をみながらせず、相手の顔を見ながらするとうまくなるよ